



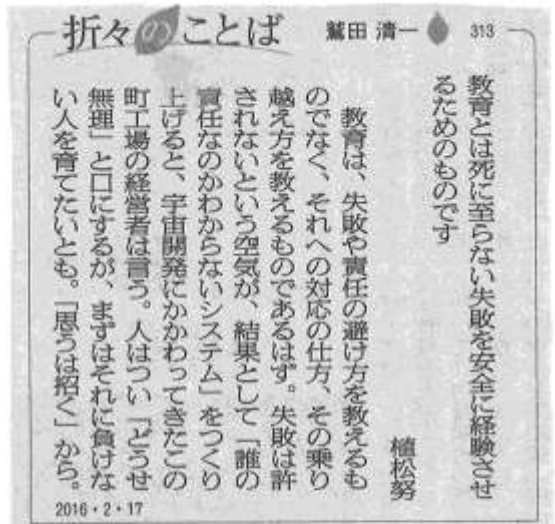
○ 経験

1年生が東光保育園に見学実習に行きました。その後の反省レポートを見ました。主に感想の欄を読んでみて次のような点(意見)に目がとまりました。 ※実際の表現どおりではないものもあります。

0歳児とのコミュニケーションのとり方      これまでよりも少し広く見ることができた  
 すべての子どもに平等に対応するのは難しい      けがをさせないように気をつけた      囲まれて  
 しがみつかれて身動きがとれなくなった      代わってあげることができるマナーがすごい  
 けんかをしないおもいやりをもっていた      ほめるだけじゃないということ      自分ができるところを  
 たくさん見せてくれた      子どもと同じ目線にたつということ      子どもの素直さ・やさしさ・かわ  
 いらしさ・元気さ      おねえちゃん先生とよばれたこと      おしゃべりが我慢できていてすごい  
 命を預かっているという実感      ほめたり教えたり      緊張したけれど楽しかった      などなど

実際には私の想像以上にたくさんの感想・気づきを書いていました。このような意見がたくさん出せる若さや柔軟性をいつまでももっていてほしいとまず思いました。

「けが」について… 私は美術教師としてこれまで生徒たちとあらゆる分野の制作をともにしてきました。時には彫刻刀などの刃物を使うこともあります。私が気をつけていたことは、「ちょっとしたけがはするかもしれないが、大けがは絶対にさせない。」ということです。使う道具によっていろいろなコツがあります。どこかの機会に学生たちにも知らせたいと思っています。中学生と小学生、幼児の場合とでは状況が少し違うと思いますが、基本方針は変わらないと思っています。



朝日新聞から

あるとき右上の記事が新聞に掲載されていました。今回のたよりの内容と共通点があるように思っています。新聞記事のほうは「けが」だけのことではないようですね。

自校自賛

機会を見つけて本校の学生たちを紹介しています。今回は13日(金)に行われたOC(オープンキャンパス)の学生スタッフとして参加した4名です。

2年生の伊賀川さん、杉林さん、1年生の岡村さん、中村さんです。2グループに分かれてそれぞれ高校生の案内役をていねいに務めてくれました。



杉林さんは「歓迎のことば」があったので今回は省略

私は一緒に回りながらときどき動物のスケッチをしていました。するとある時みんなとはぐれてしまいました。早く見つけて合流しようとしたのですが、なかなか見つかりません。ちょうどよい季節で来園者も多数であり、探すのに結構時間がかかりました。どこかの保育園の保育士さんらしき集団がそろいのオレンジのTシャツで歩いておられましたが、その時「やっぱり何かの目印は必要だな。」と実感しました。偶然にも“迷子体験”を自分がしてしまいました。